

第9回 株式会社MBSラジオ番組審議会 議事録概要

1 日時 2022年2月3日(木)

2 場所 オンライン会議

3 出席者 審議委員(5人出席)

委員長	積 徹宗
副委員長	くまざわあかね
委員	橋爪節也
委員	村木真紀
委員	輪島裕介

放送事業者(8人出席)

代表取締役社長	浜田尊弘
常務取締役	中村 理
常務取締役	藤井睦子
コンテンツデザイン局長	有貞直明
プロデュースセンター長	今道 彰
番組プロデューサー	亘 佐和子
番組審議会事務局長	島 修一
番組審議会事務局	服部雅子

4 議題

- 1 MBSラジオからの報告
- 2 番組審議「立岩陽一郎のファクトチェックラジオ」

5 議事概要

MBSラジオからの報告として、以下の3件が報告された。

- 1 2021年12月に実施された関西圏の聴取率調査について
- 2 MBSラジオスタジオのコロナ対策の現状について
- 3 書籍「証言と記録で綴る 放送人高橋信三とその時代」刊行の件

続いて番組審議が行われた。対象番組は「立岩陽一郎のファクトチェックラジオ」。最初に今道センター長と亘佐和子プロデューサーから番組についての説明が行われ、その後に審議委員からの意見が出された。各委員からは、

- ラジオ放送と虚構新聞とのコラボがユニークで面白かった。
- 深夜帯での放送はもったいないので、他の時間帯での再放送を検討してはどうか。
- 大阪には宮武外骨が滑稽新聞を出すなど、政治や権力を風刺する文化がある。同じような精神を感じた。
- ファクトチェックと虚構新聞の組み合わせは、マスメディアらしく『攻めている』姿勢が感じられた。

など、評価する意見が出されました。一方で、

- 虚構ニュースをアナウンサーが読むことで現実味が増して、それが真実であるかのように信じられるのではないかと、怖さを感じた。
- ファクトチェックは万能ではないという視点も必要ではないか。

などの意見も挙げられ、スタッフとの質疑応答が行われた。スタッフからは「貴重な意見を聞かせていただき、大変参考になった。今後もより良い番組を作っていきたい」と意見が述べられた。

以上